

2 問題解決的な学習を中軸とした授業の充実のために

授業づくりのポイント一覧

先生方が日々の授業を振り返る際や校内研修の資料としてご活用できるように、「授業づくりのポイント」を示しました。詳しい内容については、冊子の該当ページをご覧ください。
また、自己の重点の欄は、日々の授業や校内研修等で重点を定めて取り組む際に、ご活用ください。

大項目	細目	授業づくりのポイント		ページ	自己の重点
単元構想	単元	単元のねらい	① 単元のねらいをとらえた系統性や関連性等のある単元を構想する。	P. 3 P. 4	
		実態把握	② 普段の授業や各種調査から単元展開や授業に生かせる実態把握を行う。		
		評価計画	③ 目指す子どもの姿を具体的にとらえ、指導に生かせる評価計画を立てる。		
授業設計	本時	整合性	④ 単元のねらいから本時のまとめまでの整合性を図る。	P. 5 P. 6	
		手立て	⑤ 子どもが課題をもち、解決に取り組むための具体的手立てを講じる。		
		板書計画	⑥ 子どもの思考の流れを想定した構造的な板書計画を立てる。		
指導	学習課題	設定	⑦ 子どもにとって考える必然性があり、解決への意欲が高まる学習課題を設定する。	P. 7	
		見通し	⑧ 子どもたち自ら解決の見通しをもてるように、課題解決の方法や調べる視点等をもたせる。	P. 8	
	働きかけ	発問	⑨ 考える視点や方法、手がかりを明確にもたせるとともに、思考を促す発問を行う。	P.9 P.10	
		見取り	⑩ 適切な机間指導により、子どもの学習状況等を見取り、本時における次の授業展開に生かす。		
		支援	⑪ 一人一人の学習状況を把握し、個に応じた適切な支援の手立てを講じる。		
	学び合い	コーディネート	⑫ 個々の考えの見取りを生かして、子どもの発言をつなぐ働きかけを意図的に行う。	P.11 P.12	
		交流活動	⑬ 課題解決に向けた話し合いを行う中で、一人一人の考えを共有・吟味する。		
		グループ活動	⑭ グループ活動では、目的を明確にしてそれに合った活動を取り入れる。		
	学習のまとめ	振り返る活動	⑮ 課題との整合性を意識しながら、学習内容の定着を図る「振り返る活動」を行う。	P.13	
ノート指導		⑯ 学習を振り返ることができるノートになるよう、適切な指導を行う。	P.14		